

所 属	理工学部 知能情報システム学科	氏 名	花田 英輔
研究名	遠隔医療と地域医療情報共有		
キーワード (4～6語)	地域医療、遠隔医療、患者情報、地域医療連携		
<p>研究の概要</p> <p>地域医療崩壊の危機が叫ばれて久しい。解決策として医師養成課程の定員増などが実施されているが、短期に解決できる問題ではなく、医療体制の改革が求められているといっ てよい。その一つとして遠隔医療システムの導入、そして地域医療連携に伴う患者情報の 共有がある。遠隔医療システムには定期的に長期運用されているシステムもあるが、多く は実験的運用にとどまっている。また既に多くの地域医療連携システムが佐賀県を含め稼 働しているが、運用状況が芳しくないものも少なくない。そこでシステムの構成、ネット ワーク、運用体制の各面から、それぞれのシステムが活用されるためのヒントを提供する。</p> <p>研究の特色</p> <p>私は前任地において遠隔医療システムを開発し、8年以上にわたり定期的運用をサポート してきた。現在も稼働中である。また同様に地域医療情報共有システムの運用に携わり、 活発な利用が可能となるよう尽力してきた。本研究はその成果を基に、両システムが活用 可能となる条件または必要な要素を探り、また必要な追加機能を提案し、結果を実社会に 提供することを目的とする。</p> <p>研究の要素として、医療体制に関する知識、実社会におけるネットワーク普及の実態、 データ交換の仕組みに関する知識、セキュリティ技術とその運用に関する知識が必要であ る。</p> <p>本研究は直ちに結果を社会に還元できる課題である。</p>			